

関係代名詞を用いて英語表現活動を楽しむ

石川県立金沢辰巳丘高等学校教諭。アメリカの海外TVドラマ、24, Lost, Prison Break, 4400, Dead Zone などを見るのが楽しみ。新作のレンタルDVDのリリースが待ちきれない。

Obiyama Shunnichiro
帯山 俊一郎



はじめに

高校生にとって、関係代名詞は最も理解しにくい文法事項の一つである。関係代名詞は日本語には存在しない文法概念であり、生徒たちは学習直後に文法問題を解くことは出来ても、自己表現に使用するまでには至らない。

英語を不得手とし、特に文法理解においては中学校レベルのことも身に付いていない生徒を相手にし、いかに関係代名詞を含んだ英文を表現させるかを試みてみた。

1. 関係代名詞（主格）の文構造の理解

以下のプリントを配り、関係代名詞（主格）の文構造を教える。

<プリント1>

ターゲットセンテンス

She has a friend who can speak French.

名詞＋関係代名詞＋動詞＋～

文構造の理解

上記の英文は、以下の2文で、文②を文①の名詞の後に置いて名詞を説明する文とし、2文を1文にした文である。

文① She has a friend.

文② He can speak French.

英文の成り立ち

○ステップ1

文②を、文①の名詞の後に置く。〈*非文〉

* She has a friend he can speak French.

○ステップ2

a friend = he の関係が成り立つ。1つの文に同じ語は不必要であり、また動詞が2つあるため繋ぎ(接続)の語が必要となるので、代名詞 he を関係代名詞という特別な語(who)に変える。

I have a friend who can speak French.

who の文法上の働き

名詞 + who + V + ~
 ^ |
 S 形容詞節

- (1) 前の名詞を修飾する形容詞節をつくる。(接続詞の働き)
- (2) 形容詞節の内部では、動詞の主語として働く。(代名詞の働き)

英文を読むときの頭の働き

彼女には友達がいる。→ <どんな?> → who → <あ!ここから説明文だ、どんな友達かわかるぞ。> → can speak French → <フランス語が話せるのか!>

練習問題

関係代名詞を用いて一つの文にしなさい。

- (1) ① This is the girl.
 ② She went to Australia last year.
- (2) ① The woman is here.
 ② She has lost her purse.
- (3) ① I want to help anyone (だれでも).
 ② They will come to see me.

2. 関係代名詞を用いて英語表現

(1) 「Anyone who + V + ~」の構文理解

プリントを用いて関係代名詞の主格の用法を一通り学んだ後、英語表現活動に進む。黒板に以下のことを書き、再度英文の構造と意味を説明する。

Stand up, anyone who + V + ~
 名詞＋関係代名詞

立って下さい、～する人はだれでも。

Ex. Stand up, anyone who knows me.

(私のことを知っている人は全員、立って下さい。)

(2) フルーツバスケットで英文発表

次に「Anyone who + V + ~」の構文を用いてゲーム「フルーツバスケット」を行う。以下のプリントを配布する。

<プリント2>

Stand-up and Change-Seats Game

Anyone Who ...

Listen to someone say the sentence 'Anyone who ...' If it concerns you, stand up and change your seats.

1. Anyone who has a cell phone.
 2. Anyone who didn't eat breakfast today.
 3. Anyone who takes part in club activities.
 4. Anyone who wears glasses or contact lenses.
 5. Anyone who doesn't like math / English.
 6. Anyone who likes bananas / fish.
 7. Anyone who has never been late for school.
 8. Anyone who has a brother or a sister.
 9. Anyone who has a pet.
 10. Anyone who reads the newspaper every morning.
 11. Anyone who can ski.
 12. Anyone who has been to a foreign country.
 13. Anyone who eats rice at least once a day.
 14. Anyone who has read / seen the movie 'Harry Potter.'
 15. Anyone who comes to school by bicycle / by bus / by car / on foot.
- (中略)
20. Anyone who has blood type A.

Let's write your sentences.

Make three sentences, using 'Anyone who ...'

- Anyone who _____.
- Anyone who _____.

プリントを配布した後、例文の単語や表現の解説をし、口頭で生徒に訳を求める。次に、生徒に英文のリピーティングや音読を要求する。

その後、生徒に時間を与え、Anyone who で始まる英文を3つ考えさせる。生徒を何人か指名し、黒板に書いて発表してもらう。私の場合は、生徒に例文を20も与えてから英文を作らせたが、クラスの生徒の英語力に応じて例文の数を加減するとよい。英文理解→発音練習→自由英作文と進み、いよいよ英語版フルーツバスケットでの英文発表の開始となる。

生徒は各自の机を教室の後ろにさげ、前の空いたスペースに椅子とプリントを持って、円周状になって内側に向かって座る。この時、教師が円の中心に立ち、Anyone who ... と英語を話しゲームをスタートさせる。その英文の内容に該当する生徒は即座に席を立ち、他の椅子に着席する。教師もどこかの席に座るので、どの席にも座れない生徒が出てくる。この生徒が今度は円の真ん中に立ち Anyone who ... の英文を話す。この際、生徒はプリントを見てもいいし、見なくてもかまわない。できるだけ自分の作った英文を話すように勧める。私の勤務校は、好んで英語を勉強している生徒はあまりいないので、プリントがなければゲームに参加できない生徒が出てくる。英語が比較的出来る生徒の多い学校ではプリントを一切見ないで行うと良い。また、ゲームを盛り上げる工夫として、真ん中に5回立った者が皆の前で英語の歌を歌うという罰則をつけると、生徒は緊張してゲームに参加するようである。私は予め付箋紙を用意しておき、真ん中に立った生徒に1回に1枚ずつ貼り付けた。

私は15人から40人のクラスで行ったが、どのクラスも大変盛り上がった。最初は面倒くさがっていた生徒もゲームに興奮し、必死になって英文を考え、英文を聞き取ろうとしていた。この活動では、生徒は英文法を学んでいるという意識がなく、自然に関係代名詞による後置修飾の英文を発表しているのである。フルーツバスケットでの英文発表は、英文法を理解し、英語を「話す」・「聞く」力をつけ、体も動かすので大変楽しい英語による表現活動だと言える。